

高校配置計画に係るアンケート調査の結果

1 アンケート調査の実施

平成26年7月8日から、市内の各小中学校の全保護者を対象とした高校配置計画に係るアンケート調査を実施するとともに、8月27日から9月30日までの間、市のホームページを利用して、一般市民等を対象にアンケート調査を実施した。

2 アンケートの回収率等

(1) 保護者アンケート

対象者 6,416人 回答者 824人 回答率 12.8%

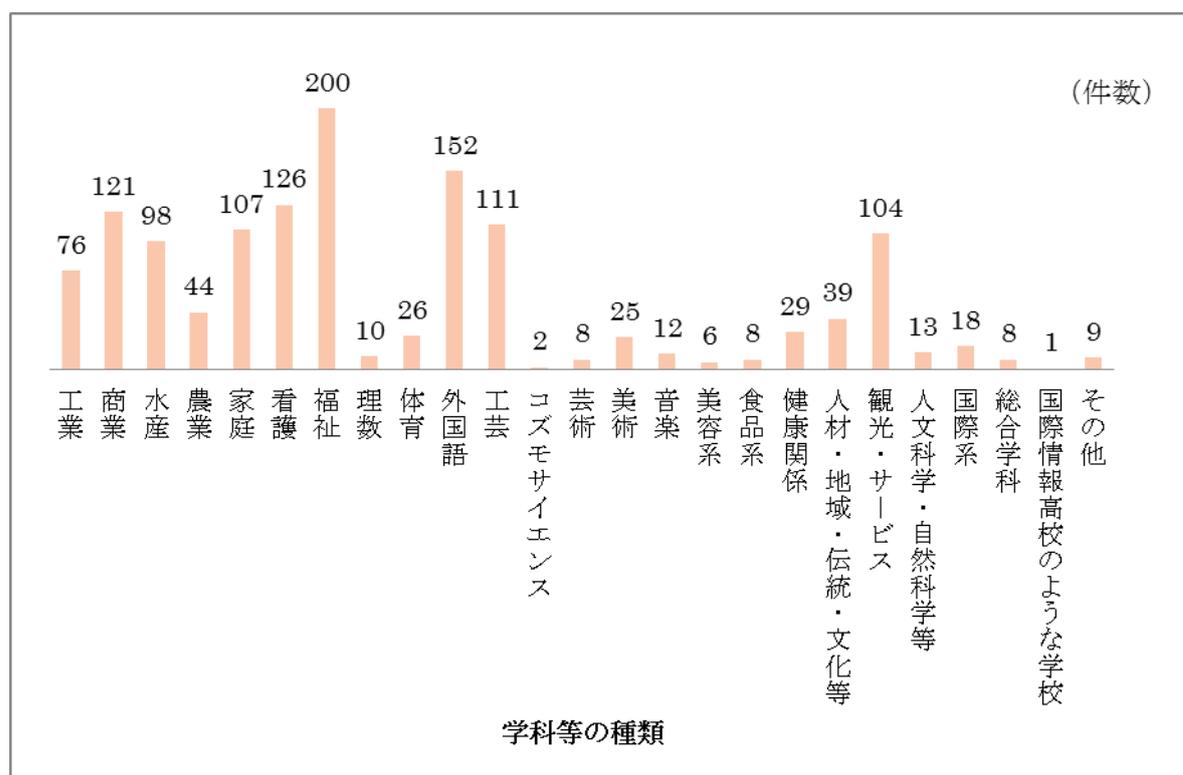
(2) 一般市民等アンケート

回答者 1人

3 アンケート調査の結果

【質問1】

小樽にふさわしい魅力ある職業高校として、伝統や文化、歴史、地元産業などの特色を生かしてどのような学科があれば良いと思いますか。



【希望の多かった主な学科と意見等】

○福祉科（介護関係を含む。）、看護科

高齢化が進んでいるため、福祉、看護、医療などの学科があると良い。地元の就職にもつながる。

○外国語科、観光・サービス科

観光都市であり多くの外国人が訪れることから、外国語科や観光・サービス等に関する学科があると良い。

○工芸科

小樽の伝統や文化を生かす学科として、ガラス工芸などの工芸科があると良い。

○家庭科

寿司やスイーツなど小樽の特色を生かし、調理師資格を取得することのできる家庭科があると良い。

○商業科

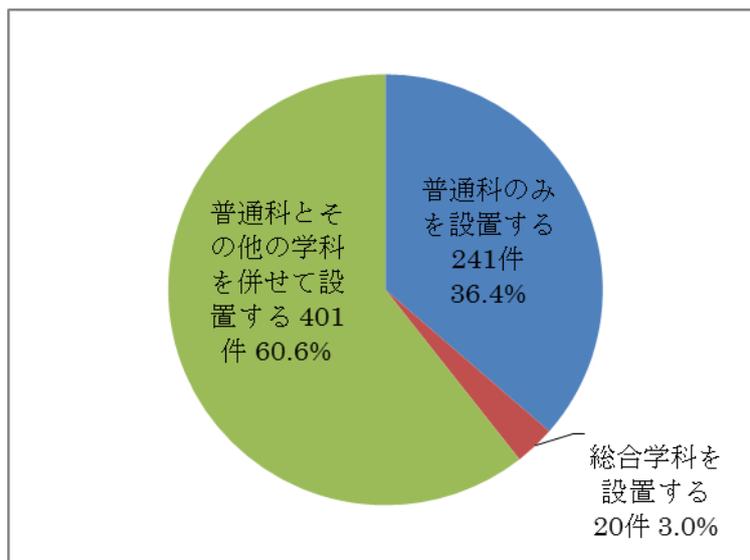
国際経済、情報関係など就職に結びつく商業科があると良い。

【その他の意見】

- ・就職に結びつくような学科や学校が必要である。
- ・企業が求める社会に貢献できる人材を育てることが必要である。
- ・地元や道内の就職先が少ないというのも問題ではないか。
- ・普通科を増やしてほしい。
- ・小樽商大との連携を図ってほしい。
- ・学科を増やすのではなく、授業の内容に取り入れる方法が良い。
- ・在学中又は卒業後に各種資格が取得できるよう地場企業と協同でカリキュラムを単位化できる学科を創設すると良い。

【質問2】

小樽にふさわしい特色ある学校・学科等として、市内の普通科設置校については、普通科だけを設置する学校が良いと思いますか。それとも、その他の学科等を併せて設置する学校が良いと思いますか。



約6割が普通科にその他の学科を併せて設置することを希望し、約4割が現状どおり普通科だけを設置する学校を希望している。また、総合学科の設置を希望する意見もあった。

(1) 普通科とその他の学科を併せて設置する方が良い 401件（約61%）

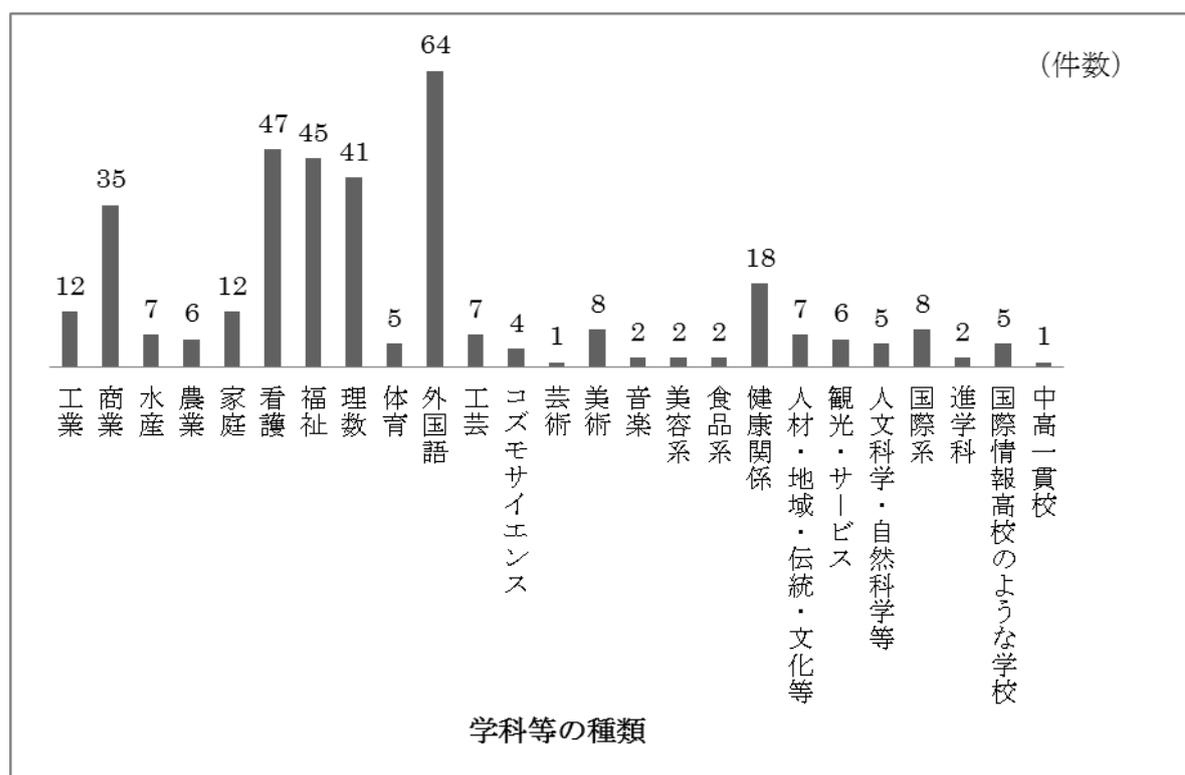
【主な意見】

- ・視野が広がり、進学や就職に役立つのではないかと。
- ・情報交換ができて子どもたちの刺激になるのではないかと。
- ・選択肢が広がるので併設が良い。
- ・普通科は就職率が低いのでその他の学科を併せると良い。
- ・併設することにより普通科の生徒も資格を取得できると良い。
- ・学習の過程で興味・関心の変化があるかもしれないので、幅広く選択できるように併せて設置しても良い。
- ・理数科など大学進学に結びつく学科であれば併設する方が良い。
- ・子どもたちは早い段階で進路を決められないので、普通科・専門科間の進路変更に対応できるように併設されていると良い。
- ・港湾関連会社と協同で通関士等の養成、自動車修理関連会社と協同で物流に必要な自動車等の整備士の養成、食に関連する会社等と協同で製品開発、生産、販売、接客等を実践する学科の併設が良い。

【希望の多い学科等】

外国語科、看護科、福祉科、理数科、商業科

【普通科とその他の学科を併せて設置する場合に希望する学科等】



(2) 普通科だけを設置する方が良い 241件（約36%）

【主な意見】

- ・普通科は大学進学に向けた学習をするため別の方が良い。
- ・進学を目指す人と手に職を付けて実践的に働くことを目指す人がいるので別の方が良い。
- ・普通科と職業学科は方向性や特色が違うので併せないほうが良い。

- 普通科だけで良いが、職業や産業の理解を深めた上で就職先や進学先を選べるような教育をしてほしい。
- 進学を目標とする学校は普通科のみ、就職する生徒もいる学校は他の学科を併せても良い。

(3) 質問2に関わるその他の意見

- 学力に応じて普通科を選択できるように普通科を増やしてほしい。
- 進学校にも資格や就職に直結するコースを作してほしい。
- 進学に特化した学科や進学に結びつく学科を併設すると良い。
- 幅広い科目から選択できるよう総合学科があると良い。

【質問3】

そのほか、市内の高校の再編や配置計画について、御意見等がありましたらお書きください。

【主な意見】

- 学校の統合や間口の減少には反対である。
- 1学級の人数を減らしてきめ細かい教育を期待する。
- 普通科の設置校が少ないので増やしてほしい。
- 現在の学校は存続してほしい。
- 商業高校と工業高校は統合しても良いのではないか。
- 大学への進学や就職に向けて選択肢が増えるよう、魅力ある高校を設置してほしい。
- 社会のニーズに合った新しい学科を設置してほしい。
- 資格や技術など就職に生かせるような学校を設置してほしい。
- 札幌市との学区の再編を検討してほしい。
- 総合学科や中高一貫校を設置しても良いのではないか。
- 再編の内容を早めに決定し、情報提供をしてほしい。
- 市内はもとより市外からの受入れも含めて特色ある高校の再編に向けて議論すべき。

経済団体、PTA団体、校長会等の関係団体からの意見

【総論的な意見】

- 小樽に誇りを持てるような学科があると良い。
- 子どもたちが地域に根付くということが大切。
- 街づくりに基づいた学科が必要である。
- 高校では、狭い専門家を育てるよりも、いろんなことを経験させるのが良い。
- 新しい学校や学科で外からも人を呼ぶことができるかもしれない。
- 商業科と工業科の統合はうまく行っていない学校が多いので、今あるものをそのままベースにするよりは、市のビジョンに合うような学科をつくるのが良い。
- 地域のニーズに合った特色ある学校づくりを進めるという趣旨は理解できるが、トータルで間口削減となることは反対。

【学科等に関する意見】

- 工芸、スイーツ、日本料理など大きく捉えれば「ものづくり」と言える。学校としてうまく行くかは分からないが、外から人を呼び込める学科だと思う。
- 高齢化だから福祉というのでは魅力にはならない。例えば、三笠高校のような特化したものが良いのではないか。
- 国際観光都市としては、観光サービスよりも語学が大切。観光サービスは後からでも学べる。コミュニケーション能力を身に付けることは社会での力になる。
- 観光科などの特化した学校づくりが良いかは別として、観光ビジネスに関わるような教育課程を含んだ学科はあって良いと思う。
- 総合学科は多様なニーズに応えられるのではないか。学科も社会情勢に影響されるので、状況に応じて見直しを掛けることも必要ではないか。
- 保護者や子どものニーズに合うのは普通科に新しい学科を併せた学校。普通科もあり他の学科もある札幌国際情報高校のような学校が良いのでは。

【卒業後の進路に関する意見】

- 新しい学校・学科を設置するとすれば、卒業後の出口を見据え、就職や進学につなげる必要がある。
- 福祉は、雇用はあるが長続きしていないのが現状で、高校3年ですぐに就職は難しく、専門学校へ行く方が多い。
- 観光の街として接客などのスキルがあるという評判になれば就職につながるのではないか。
- 就職のパイプが太い学校は生き残ることができる。その点で総合学科は中途半端なイメージがある。
- 公立の普通科が少なく、大学進学を考えて三つ目の普通科高校という意見もある。